

文部科学大臣杯関東予選試合要項

受付番号

5月9日の会場

1. 試合日程・会場・試合時間：予選ラウンド：5月9日 10:30～
SKOラウンド：フライトA：5月10, 16, 17日 10:30～
フライトBCD：5月10日 10:30～

関東地区在住のプレイヤーで構成されたチームで

- フライトA：オープン
- フライトB：全プレイヤーがMP 1000点未満（同年3月31日現在）
- フライトC：全プレイヤーがMP 1000点未満（同年3月31日現在）の女性だけのチーム
- フライトD：全プレイヤーがMP 300点未満（同年3月31日現在）

2. 試合方法

A. 予選（予選の順位がSKOのチーム番号になります）

a. ボード数・ラウンド数

7ボード8ラウンドまたは8ボード7ラウンドのスイス方式のVP戦。

※参加チーム数によりボード数や試合形式が変動する場合があります。

b. 予選通過チーム数（予定）

フライトA：32チーム

フライトBCD：4チーム（参加申込数が16チーム以上の場合は8チーム）

c. 同VPの際の順位（マスターポイントはタイとして計算します）

- 1) IMP総得点÷IMP総失点の比率の高いチームを上位とします。これが同じなら、
- 2) 直接対戦の結果の勝者を上位とします。これが同じなら、
- 3) 勝ち試合を2点、IMP引き分け試合を1点としてその合計得点の多いチームを上位とします。これが同じなら、
- 4) 1位チームとの対戦の獲得VPを比較し、獲得VPの多いチームを上位とします。これが同じか、いずれかまたは両チームに1位との対戦がない場合は以下2位、3位と比較の対象を差が出るまで下げてゆきます。

d. フライトBおよびCは予選を同一のフィールドで行います。予選第2セッション開始時までにはフライトC参加希望チームはフライトB参加希望へ変更が可能です。

B. SKOラウンド

a. ボード数

IMPによる28ボード（14ボード×2回戦）のシングルノックアウトチーム戦

※フライトA決勝は56ボード（14ボード×4回戦）をスクリーン付きテーブルでプレイします。

※フライトBCDで決勝が8チームときは1対戦18ボード（9ボード×2回戦）。

b. ホームチーム（対戦ペアを選ぶ権利を持つチーム）とビジティングチーム

チーム番号の小さいチームがホームチームに前半になるか後半になるかを選択できます。選択せず試合を始めた場合は前半にホームチームの権利を選択したのものとして、後半は相手チームがホームチームとなり対戦ペアを選ぶ権利を持ちます。

チーム番号の大きいチームが小さい番号のチームに勝った場合は相手チームの番号を引き継いだものとして、以後の試合のホーム・ビジットの関係を決定します。

決勝戦ではチーム番号の小さいチームがホームチームに1, 4回戦になるか、2, 3回戦になるかを選択できます。選択せず試合を始めた場合は1, 4回戦にホームチームとなるものとします。

c. IMPが同点のときの勝敗の決定

1. トータルポイント（決勝は4ボードのプレイオフ）
2. 1ボードのプレイオフを決着がつくまで繰り返します。
3. ただしマスターポイントは1位タイとして計算します。

2009年文部科学大臣杯関東予選参加チーム数

フライトA：40チーム（7ボード8ラウンドのスイス予選、32チーム予選通過）

フライトB：5チーム

フライトC：19チーム

フライトD：9チーム

}（7ボード8ラウンドのスイス予選、B4チーム、C8チーム予選通過）

（7ボード8ラウンドのSRR予選、4チーム予選通過）

3. キャンセル・メンバー変更：前日正午まで

これ以降は自チームでプレイしていないメンバーの削除と、予選1ラウンド目の開始後に他チ

ームに所属したことの無いメンバーの6人目までの追加のみ受け付けます。

4. コンベンション制限

フライト A 予選 : リスト C

SKO ラウンド : リスト E

フライト B および C : リスト C

フライト D : リスト B

* リスト D およびリスト E を使用するペアは試合開始日の3週間前までにシステムカードおよび補足シートを連盟事務局まで提出すること。システムカードおよび補足シートは連盟ホームページで閲覧できます。

* Brown Sticker コンベンションを使用するペアは Brown Sticker Announcement Form および全ての Brown Sticker コンベンションに対する、使用に耐えるサンプルディフェンスを上記提出期限までに提出しなければなりません。

* 相手方のシステムの Brown Sticker に該当する部分に対するディフェンスのサマリーを使用する場合は試合開始前までに2部ディレクターに提出すること。このサマリーは対戦相手のサマリーの一部となり試合中に参照できます。

5. 時間に関するペナルティ

A. 遅刻

遅刻のためプレイできなくなったボード毎に3IMPを対戦相手に与えます。

30分以上の遅刻は不戦敗。

B. 時間制限 (SKO) (1 ラウンド 28 ボードの時。括弧内はスクリーン使用時)

* ラウンド開始より 45(55)分経過して、両テーブルで手をつけていないボードはキャンセル。

* ラウンド開始より 145(175)分経過して、両テーブルで手をつけていないボードはキャンセル。

* ラウンド開始より 200(240)分経過して、スコアの出ていないボードはすべてキャンセル。

* 1 ラウンド 18 ボードの場合は上記時間を30分、95分、130分とします。

* 相手ペアが一方向的に遅いときは、ディレクターにモニターを要請してください。一方にのみ責任のある場合、キャンセルされた1ボードにつき3IMPを相手に与えます。

C. 時間延長、その他

制限時間の延長は一切行いません。頻繁に遅刻・遅いプレイを繰り返すチームに対しては別途ペナルティを科します。

6. 不戦勝・不戦敗 (予選)

I) 不戦勝チームには次の内、最大のVPを与えます。

a. 自チームの平均得点*

b. 不戦敗チームとの対戦における相手チームの平均得点*

c. 18 VP

* 実際に対戦を行った全ラウンドを対象とします。

* 最終ラウンド終了までは不戦勝のラウンドは18VPとして順位を決定します。

II) 不戦敗は0VPになります。

III) 不戦勝チームはメンバーの任意の4名が出場したことにできます。

不戦敗チームは誰も出場しなかったことになりませんが全ラウンド数は変わりません。

7. マスターポイント

A. 予選に半分以上出場のプレイヤーには予選のMPを発行します。

B. SKOに自チームの消化した対戦数(フライトA決勝は2対戦分)の半分以上出場のプレイヤーにはSKOのMPを発行します。

C. スイス予選、SKOを通して自チームの消化した試合数(スイス1日でSKO2対戦分)の半分以上出場したプレイヤーにはスイス予選、SKO両方のMPを発行します。ただし、スイス予選に1ラウンドも出場していないプレイヤーにはスイス予選のMPは発行されません。同様にSKOに1試合も出場していないプレイヤーにはSKOのMPは発行されません。

8. 競技会費

スイス予選 20,000円/チーム/1日

SKO 10,000円/チーム/1対戦

※ SKOは1対戦ごとに10,000円(フライトA決勝は20,000円)をお支払いいただきます。

※ フライトBCDで、決勝ラウンドを1日に3ラウンド行う場合は6,600円/チーム/1対戦

9. キャプテン

各チームはキャプテンを指名して下さい。特に指名がなければ連絡担当者をキャプテンとします。

10. 見物人

NPC 以外は自チームの見物を禁止します。

11. 決勝大会

- A. 各フライトの優勝チームは関東地区代表として、浜松で開催される決勝大会に参加していただきます。
- B. 代表チームのフライト A はスイス予選と SKO ラウンドの合計の半分以上または SKO ラウンドの半分以上に出場したメンバーで編成した 4～6 人チームであること。フライト B～D は、予選のどちらから 1 日か全体の半分に出場したメンバーで編成した 4～6 人チームであること。
この条件を満たせない場合は SKO 下位チームを代表とします。この場合、決勝参加希望チームが同順位で複数ある場合には 1 セッションのプレイオフを行います。
- C. 各フライトの代表チームには以下を補助します。
 - フライト A：東京－浜松の新幹線往復交通費 4 名分
浜松大会の宿泊費および参加料
 - フライト B：東京－浜松の新幹線往復交通費 4 名分
浜松大会の宿泊費および参加料
 - フライト C：浜松大会の宿泊費および参加料 4 名分
 - フライト D：浜松大会の宿泊費および参加料 4 名分

12. その他

☆出場プレイヤはセッション中禁煙です。

☆外部と連絡可能な電子機器の使用を禁止します。携帯電話は電源を切るか、着信音が鳴らないように設定してください。

☆チーム名の登録ができます。登録がない場合は連絡担当者の氏名をチーム名とします。チーム名は主催者の都合でお断りすることがあります。決勝大会でのチーム名は関東になります。

☆その他運営上必要な決定は、競技担当理事・運営責任者・主任ディレクターが協議の上行ないます。

以 上